

# 事業特性のひも解きから始める、 全社が合意・経営層が納得する在庫 管理の仕組み構築

## 在庫適正化・在庫管理強化 コンサルティング

詳しいご内容・お打ち合わせをご希望の場合は、  
下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：  
株式会社日本能率協会コンサルティング  
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>  
お問い合わせ番号：03-4531-4307



お問い合わせフォーム

## このような課題はありませんか？

### 経営・サプライチェーン

- 在庫金額が膨らんでおり、経営からキャッシュフローが回らないと言われる
- 工場・物流倉庫、店舗、どこにどれだけ在庫を保持すべきかわからない
- 顧客要求に応じて、品目バリエーションを増やした結果、在庫増・利益減となり交差比率が低い

### 在庫管理

- 欠品で顧客への販売機会ロスが発生している一方、余剰在庫も保持している
- 実需・売れ筋に応じた在庫管理の層別の考え方が整理できていない
- 人の経験と勘でPSI計画(製造・販売・在庫計画)が作られている
- 営業の需要予測が当たらない
- 安全在庫・フロー在庫(流動在庫)・政策在庫など理論的な在庫区分の自社への適応が難しい
- EC/店舗/卸、各チャネルからの受注に対応できる在庫水準を決められていない

### 在庫管理システム

- エクセルでの在庫管理を行っているが業務が煩雑で時間がかかっている
- 在庫管理システムを導入したが、新商品のマスタメンテができておらず、使えていない

### 倉庫管理

- WMS(倉庫管理システム)を入れているが、在庫基準値のメンテナンスができていない
- 在庫保管場所が多岐にわたり、棚番管理が上手くない、在庫を探す時間がかかっている

事業特性のひも解きから始める、  
全社が合意・経営層が納得する在庫管理の仕組み構築！

在庫は商品供給のリードタイムを短縮させる役割がありますが、商品アイテムの増加、販売計画のあいまいさ、大ロットでの生産、季節変動対応などで、キャッシュフローや保管コストに悪影響を与えます。適正在庫を目指すためには、サプライチェーン全体を見渡して、在庫との関連要因をバランスよくコントロールする必要があり、サプライチェーンの構造を理解して、関係各機能との連携作業を適切にリーディングするための、幅広い業務の知見とマネジメントスキルが要求されます。

### 特徴① 事業特性に応じた層別管理

需要特性と供給特性により、在庫の持ち方・生産管理方式が変わります。納期に余裕・能力にも余裕があれば、受注を受けてから生産を行う受注生産の形態をとることができます。一方、納期もしくは能力に余裕がない場合は、平準化を狙った生産、見込製造・見込み在庫の保持をするなど、特性に合った管理が求められます。

## 特徴② 在庫構造を見える化

在庫管理は、生産/販売どちらか一方の組織によって行うものではなく、経営とオペレーション機能の部署が納得する適正在庫を全社で決めることが重要です。生産側の生産能力や生産リードタイムなど、生産の実力と営業側の需要予測精度や機会損失コストにより、自社で保持すべき在庫水準を定める必要があります。また、安い時に原料調達し在庫したり、得意顧客のために確保するなど、政策的に在庫を保持する場合があります。



JMACでは、在庫の構造化の考え方を整理し、考え方に従って全品目の基準値を設計できれば、基準値へ向けた生産管理を実施し、在庫適正化を狙います。

## 特徴③ 生産、販売プロセスの実力向上

業務プロセスの改善を行い、さらなる在庫削減を実現します。たとえば生産では、生産リードタイムの短縮、計画サイクルの短縮、不良の低減や、小ロット生産化により在庫圧縮が可能となります。販売では需要予測精度向上、品種構成見直しなどが挙げられます。



JMACでは、各業種での生産・販売の業務プロセス改善の経験をもとに、さまざまなアイデアを提供し、継続的な在庫削減のご支援を致します。

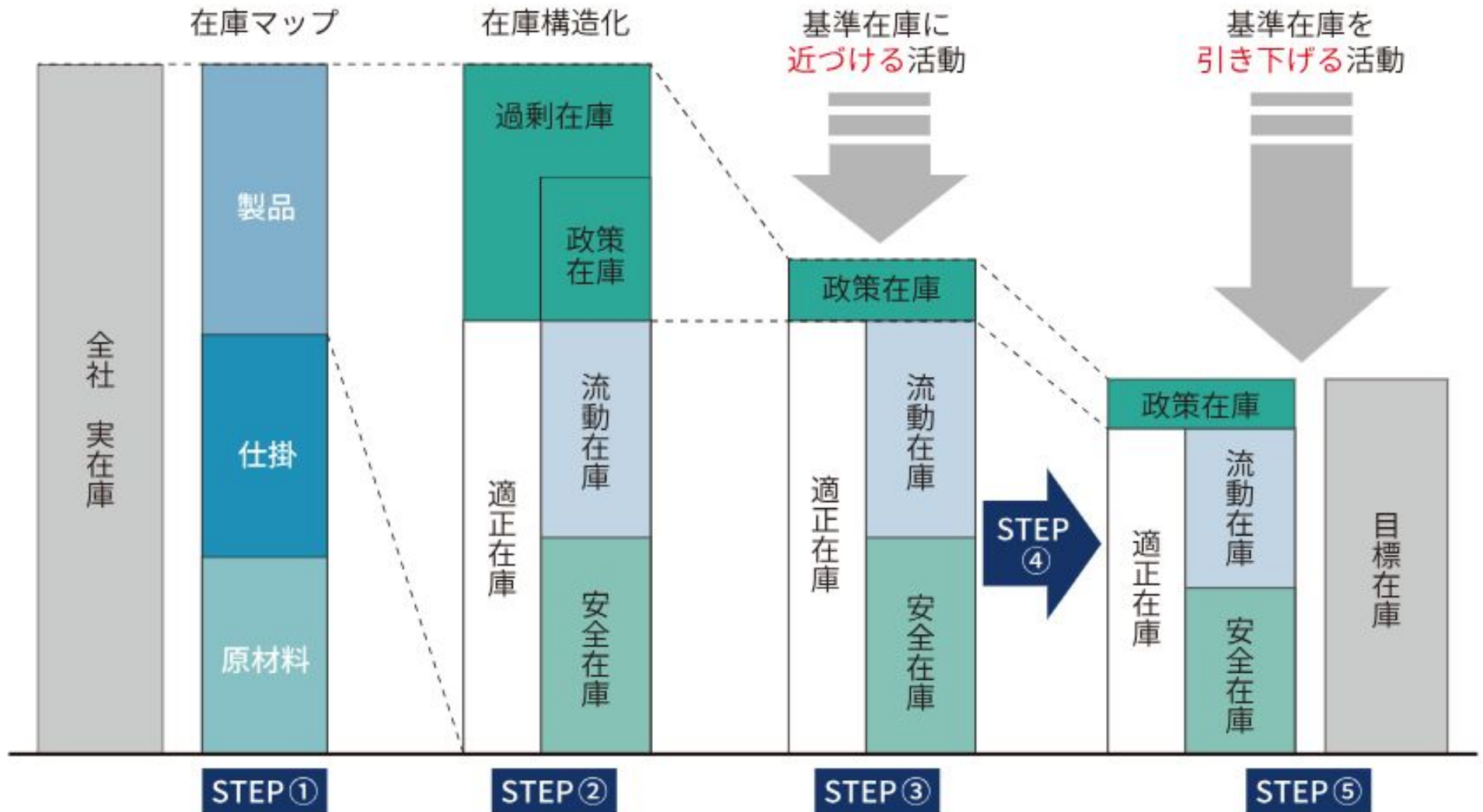
# JMACのコンサルティングの特徴

在庫区分		保有目的・定義		
現状在庫	プロセス在庫	流動在庫	計画周期、調達 LT 中の平均的な需要に対して保持する在庫、および製造システムの構造上必要な在庫 (能力上のアンバランス etc.)	理論適正在庫
		安全在庫	需要量の変動、品切れ、納期遅れなどに対処するためにもつ在庫	
	政策在庫	計画先行在庫	需要量の変動に対して操業度の平準化をはかるために、前倒し生産を行って持つ在庫、および政策上、投機上持つ在庫	保有理由により判断
		確保在庫	特定顧客、特定受注に対して、確保する在庫 通常の受注からは、引き当て対象外にするなどして、運用する機会が多い	
	過剰在庫	過剰手配在庫	安心のため、ロットまとめによる効率優先のために、必要以上に手配する在庫	現状在庫— 他在庫区分
		長期保管在庫	長期間で見れば使用可能性があり、廃棄意思決定がされていない在庫 (特殊部品、パーツ品、etc)	
	死蔵在庫	陳腐化在庫	製品のライフサイクル終了、設計変更などによりまったく受注の見込みがない在庫	在庫品 ステータス により判断
		劣化品在庫	長期保管などによる品質の劣化のために使用不可能になった在庫	

# コンサルティングの進め方

<b>STEP①</b> 現状在庫の全体像把握と 対象重点化(在庫MAP作成)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 現状の在庫(事業・在庫場所・製品 / 部品、製品分類別)が、どのくらいの金額・量・月数保持しているのか明確にする</li></ul>
<b>STEP②</b> 現状在庫の構造化	<ul style="list-style-type: none"><li>● 販売・生産状況も把握</li><li>● 在庫区分の設計、製品ごとに適正在庫を算出</li></ul>
<b>STEP③</b> 在庫発生要因の解析	<ul style="list-style-type: none"><li>● 現状在庫と適正在庫の差を明確にし、在庫発生要因を調査</li><li>● 在庫発生要因を深掘りし、在庫増加の真因を探す</li></ul>
<b>STEP④</b> 目標在庫達成へ向けた改革 テーマ抽出	<ul style="list-style-type: none"><li>● 在庫発生要因に対する複数の改革案を抽出 →効果が大きく実行可能な案を目標在庫を達成するためのテーマとして設定</li></ul>
<b>STEP⑤</b> 目標在庫シミュレーション	<ul style="list-style-type: none"><li>● 改善案による在庫削減効果のシミュレーション</li><li>● 顧客の満足する納期遵守となるかシミュレーション</li></ul>

# コンサルティングの進め方





## 対象 部門

業種：自動車、化学、建材、電気/電子、医薬、食品、流通/小売  
領域：サプライチェーン(SCM)、製造、販売、調達、経理、生産管理、在庫管理

## Case

### 業界

精密機器製造

### 会社プロフィール

グローバル市場に展開。業界大手。

### テーマ

製品在庫の削減

### 背景

発注から納入まで期間が長いため、販売側が過剰に製品在庫を保有しキャッシュフローを圧迫。

### 取り組み内容

- 販売在庫量と受注量データの共有化
- 製品別安全在庫量基準の見直し
- 生産計画サイクルの短縮化
- 製品廃盤ルールの設定と実行

## 面談

貴社課題について理解し、JMACのアプローチの説明、ご提案の方向性についてご相談します。  
必要に応じて、NDAをご準備します。  
現場視察により理解を深めさせていただく場合もございます。

## 提案

お打ち合わせ内容を踏まえて、貴社課題に添ったコンサルティング計画提案書をご提示させていただきます。

## 契約

JMACご提案を採用いただきましたら、業務委託契約書の締結準備をさせていただきます。

## 実施

コンサルティングを実施スタートいたします。  
キックオフを経て、

- 現状分析
- 関係者ミーティング
- 改善支援
- 推進報告会

を実施しながら課題解決に努めます。

お問い合わせ先：  
株式会社日本能率協会コンサルティング  
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>  
お問い合わせ電話番号：03-4531-4307